

## 1 まちづくり

## (1) 磐田市文学賞「(仮)しっぺい文学賞」の創設について

自治体が創設する地方文学賞は全国で200ほどあると言われ、新聞社や雑誌社も含めると500とも言われています。文学賞と言えばすぐに雑誌社主催の文学賞である芥川賞・直木賞が浮かんできますが、自治体主催のものには静岡県の伊豆文学賞、石川県金沢市の泉鏡花文学賞、東京都三鷹市の太宰治賞、愛媛県松山市の坊っちゃん文学賞等々があります。これら自治体主催の文学賞は地域の文芸活動の振興というだけでなく、青少年の健全育成、また松山市のようなまちおこしや観光振興に一役買った文学賞もあります。

さて文章を書くということは、読書の良さ・効果をさらに引き出す力を持っています。読書で得た知識や創造力・国語力を、文章を書くことによりさらに一層の表現力を培うことにもつながっていきます。またコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力の向上だけでなく、脳のトレーニング・活性化にも大変大きな効果があると言われています。

そこで、市民に随分と浸透し、全国にも名を馳せた「しっぺい」の名を冠した磐田市の文学賞の創設を、この合併10周年を機にぜひ検討してみてはと思いますがいかがでしょうか。

## 2 ひとづくり

### (1) 合同成人式の開催について

ジュビロの一斉観戦から3年が経過しました。多くの子どもたちが感動を覚えたことであり、今でも忘れることのない大切な思い出になっているものと思います。この子ども達もあと数年で20歳を迎えることとなります。

「磐田は一つ」を具体的に進めていくためには、今までの世代ではなく次代を担う若い世代が一体感を感じなければなかなか前へ出ていくものではありません。若い世代の力は大きいものがあります。ジュビロ一斉観戦世代には共通の感動をもっています。これは何にも代えがたい大きな力、推進力になります。

合同成人式は、出来得れば平成28年成人式からの実施を望むものですが、収容能力等の問題もあり難しい状況かと思えます。

そこで天候等様々なハードルがある事は容易に察することができますが、ジュビロ一斉観戦をした子どもたちが、今度はヤマハスタジアムで成人式を挙げる事ができれば、それは大きな心の宝物になるはずです。ジュビロにとっても地元にしかりと根をおろしていく良い機会でもあります。

あの時の感動を、人生の大きな節目である成人式に蘇らせることができたなら2つ目の年代共通の感動となります。

時間はまだ十分にあります。今後、検討してみる価値は大いにあると思いますがいかがでしょうか。